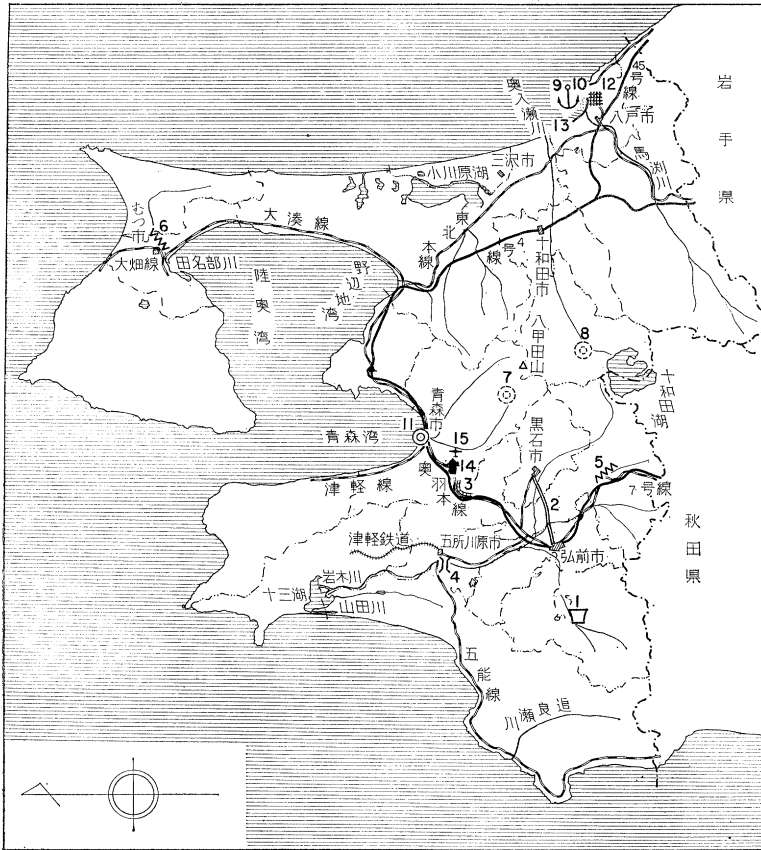




位置および交通案内	工事事務所所在地	工費 (1000万円)	工事特徴	事業主体	主要施工業者	施工年月 竣工予定年月	備考
日高線 静内駅, バス	新冠郡新冠村	720	アーチダム	北海道電力	鹿島, 佐藤, 清水, 大成	1958.11~ 1963.11	
網走本線 本別駅	中川郡本別町	510	アースダム	電源開発	大成, 地崎, 伊藤, 鹿島	1960.12~ 1962.11	
三笠市桂沢	三笠市桂沢	490	重力式ダム	開発局	鹿島建設	1957.5竣工	
夕張市南大夕張	夕張市大夕張	440	〃	開発局	大成建設	1961.5竣工	
札幌~千歳	札幌開発建設部	87	短期間の改良舗装実施	開発局	日本舗道, 外	1952.10~ 1953.12	
石北峠~留辺蘂	網走 〃	141	土工量大 標高 1000 m	〃		1959.5~ 1964.9	
札幌~滝川	札幌 〃	394	泥炭地工法	〃	大林組, 外	1952.4~ 1964.11	
札幌~中山峠	札幌 〃	367	均盛土量およびすべり止めの舗装	〃	岩田組, 外	1957.6~ 1965.11	
北海道沙流郡 平取町~日高村	振内, 三岩	180	新線建設 37.9 km 橋梁, トンネル	国鉄札幌工 事局	清水建設 〃	1953.10~ 1964.3	一部開業
根室本線 白糠駅	白糠, 縫別, 上 茶路	185	新線建設 35.4 km 橋梁, 立体交差	〃	大成建設 組	1957.6~ 1964.3	
定鉄バス 豊滝駅	札幌開発建設部	10	ディビダグ式 PC 工法	開発局	別子建設	1959.11~ 1961.8	完成
国鉄 沼田駅	〃	12	ランガーガーダー	〃	(下) 岸田組 (上) 宮地鉄工	1958.9~ 1961.11	完成
国鉄 深川駅	〃	20	プレストレスト ランガーガーダー	〃	(下) 伊藤組 (上) 横河橋梁	1958.8~ 1962.10	
国鉄 納内駅	〃	25	鋼斜張橋	〃	(下) 岩田建設 (上) 松尾橋梁	1959.8~ 1962.10	
国鉄 江部乙駅	〃	47	鋼連続箱桁	〃	(下) 岩田建設 (上) 松尾橋梁	1959.9~ 1964.10	
国鉄 標津駅	釧路開発建設部	13	プレストレストタイドアーチ	〃	(下) 中山組 (上) 未定	1960.7~ 1962.11	
国鉄 長和駅	室蘭開発建設部	11	B.B.R.V. PC連続桁	〃	(下) 草野作工 (上) 横河橋梁	1960.5~ 1962.8	
国鉄 旭川駅	旭川開発建設部	12	B.B.R.V. 工法	〃	(下) 清水建設 (上) 北海道PS	1960.2竣工	
札幌市南9条西1丁目	札幌市	38	レオンハルト工法	札幌市	北海道PS	1961.10~ 1963	
江部乙町地内六戸島	妹背牛町	132	ショートカット	開発局	直営北拓建設	1956.4~ 1962.3	
旭川市3線合流点	旭川市	203	築堤工事	開発局	広野組, 北野組	1955.4~ 1967.3	
室蘭本線 苫小牧駅	苫小牧市	3000 (内国費 1500)	掘込港湾	開発局	東海臨港 倉組	1951~未定	
函館駅, バス	函館市	4			森川組	1963	工費は35年 以降の事業 費である
函館駅, バス	函館市	6	階段式護岸	北海道	地崎組	1963	
札幌駅, バス	札幌市	40	階段式曝気浄水	札幌市	地崎組	1961~1963	
函館市	函館市	9	し尿を海底に圧送し処理する 方法	函館市	戸沼建設, 大成建設, 日本ヒューム	1956~1962	
札幌市真駒内	札幌市真駒内団 地	下水 19.8 処理場36.7	分流式 終末処理場 (活性汚泥法)	北海道	荏原	1948~1969	
札幌市真駒内	札幌市	200	住宅専用地区造成	北海道		1959~1967	
札幌線 当別駅	石狩郡当別町	110	泥炭地の大工事	開発局	直営及請負	1962 竣工	
札幌線 月形駅	樺戸郡月形町	120	プレバクト工法	開発局	西松	1962 竣工	

青 森 県



青森県の概況と観光

青森県の観光資源は十和田八幡平国立公園の区域のうち、十和田湖の湖沼美、奥入瀬渓流の渓谷美および八甲田連峯の山岳美とその配置の妙を得た 42800 ha の区域を主軸とし、海岸美、奇岩奇石、湖沼群、山岳美、樹海の眺望、溪流美、温泉群等をそれぞれの特徴とした地区の県立自然公園が展開されている。十和田湖は二重陥没カルデラ湖で、外輪山には湖面を広範囲に俯瞰し雄大な景観を堪能しうる所が多く、特に瞰湖台、十和田山、御花部山、発荷峠は 4 大展望所となっている。

青森県民の象徴八甲田連峯は通称北八甲田をいい、大岳を主峯として大小 8 峯を擁し、大岳の山麓には国民温泉の指定を受けた硫黄泉の酸ヶ湯温泉（青森よりバスで約 1 時間 30 分）がある。ここは新緑、紅葉、春スキーの各シーズンの行楽客と湯治客で賑わっている。

青森市は戦災復興事業により街区は整理され往年の青森を知る人は驚異の目をみはることであろう。

現在青森港の 1 万 t 岸壁も運輸省の直轄事業として着々工事が進められ、貿易をして大きく躍進することが約束されている。一方下水道事業も昭和 27 年度より着工し、環境の整備に努めている（図面番号 11）。

目を弘前市に転ずれば、ここは津軽藩主津軽為信公の居城が鷹揚公園の中に鎮座している。

明治にいたり第 8 師團司令部所在の軍都として栄えて、終戦

後は学都となり観光都市にかわり、この城の桜特に岩木山(1625 m)をバックとした景観はことに秀でている。

八戸市は戦時中（旧軍関係）工業地帯土地区画整理事業を基盤とする都市計画により工業地帯の造成と工場敷地の適正化をねらいとして土地区画整理が行なわれ、以来化学肥料、セメント、鋳工業の砂、鉄銑の製造工場を主軸とし地場産業の開発を進めてきたが近時いよいよ工場のメッカとなり誘致される工場がその跡を絶たないので工場立地整備の建設工事が多種多様にわたって建設されている（図面 9, 10, 12, 13）。

青森県の東北角に位する下北半島は最近に至り東北開発計画

工事区分	番号	工事件名
ダム工事	1	目屋ダム建設工事
道路工事 (新設)	2	二級国道八戸弘前線 道路改築工事
鉄道工事 (新設)	3	大釈迦トンネル 建設工事
橋梁工事	4	乾橋架替工事
河川工事	5	平川上流 災害土木助成工事
	6	田名部川改修工事
観光施設 および観光計 画	7	酸ヶ湯集団施設 地区整備事業
	8	奥入瀬溪流探勝 歩道工事
港湾工事	9	八戸港改修工事
海岸保全	10	チリ津波対策
下水道	11	青森市下水道事業
都市計画	12	土地区画整理事業
埋立工事	13	臨海工業地帯 造成工事
公園緑地	14	青森市内三霊園
その他	15	青森飛行場建設工事

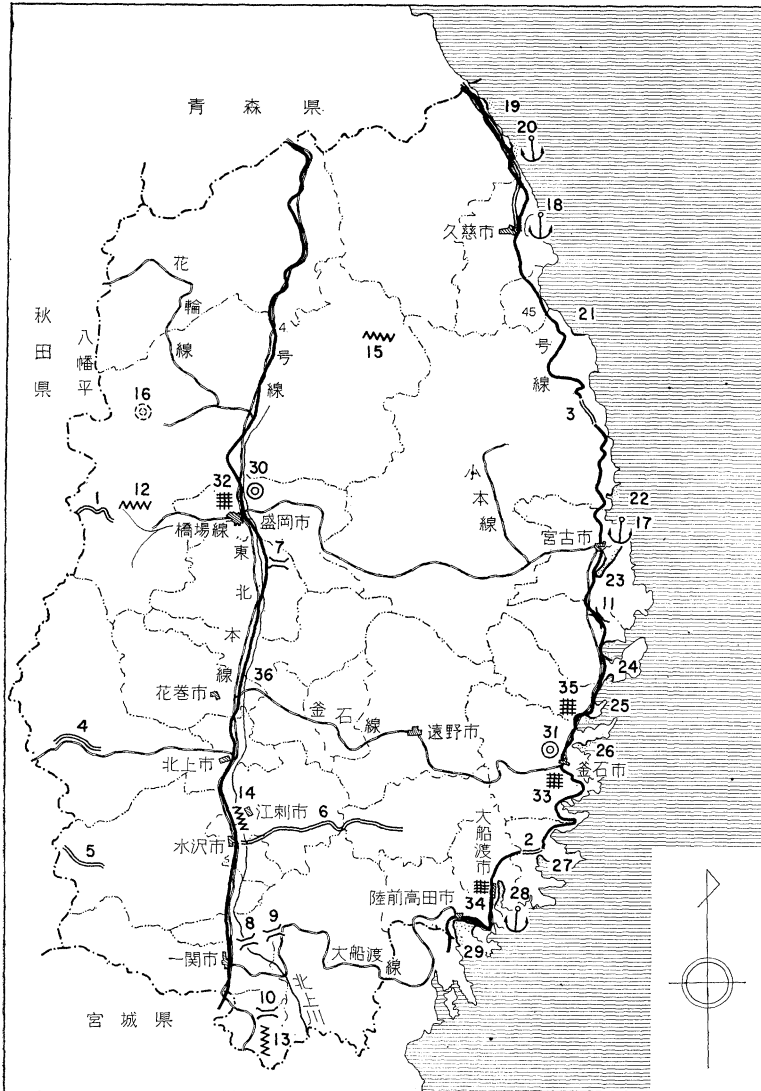
位置および交通案内	工事事務所所在地	工費 (1000万円)	工事特徴	事業主体	主要施工業者	施工年月 竣工予定年月	備考
青森県中津軽郡西目屋村	目屋ダム管理事務所 青森県中津軽郡西目屋村	230	洪水流量 500 t を Cut して 岩木川下流の洪水を防ぐこと を主とした多目的、コンクリ ート重力式ダムである	建設省	間組	1953.8~ 1961.3	
青森県黒石市田舎館村	弘前土木事務所 青森県弘前市	12	交通量の増大にともない、市 街部のバイパスと舗装によっ て交通の緩和をはかる	青森県	渡辺組	1960.8~ 1962.3	
青森市鶴ヶ坂 南津軽郡浪岡町	国鉄盛岡工務局 大釈迦工事区 青森県南津軽郡浪岡町	62	勾配改良 (25/1000 を 10/1000 に) により 7 分の Speed up および線路容量の増 工事延長 5 500 m 内トンネル延長 1 768 m	国鉄	熊谷組 鉄道建設 仙建工業	1961.3~ 1962.10	
五所川原市 西津軽郡柏村	五所川原土木事務所 青森県五所川原市	19.5	ゲルバー式鋼鈹桁 吊桁活荷重合成 桁 高等高	青森県	横河橋梁 斎勝建設	1959.10~ 1962.3	$l=346.0$ m $w=8.0$ 11 径間
南津軽郡大鰐町碓ヶ関村 (国鉄 大鰐駅)	臨時平川改修事務所 青森県南津軽郡大鰐町	57	35年発生した平川災害をもとに して上流本川及び各支川の流 路整備護岸根固めを施工する ものである	青森県	県内各業者	1960.9~ 1965.3	
青森県むつ市海老川 (国鉄 田名部駅)	むつ土木事務所 青森県むつ市	40.8	30年の出水にかんがみ、むつ 市街地上流から国川を切替 え 3 090 m の放水路をもって計 画洪水量 190 t を放流する	同上	同上	— 1965.3	
青森市後ヶ湯温泉地内		0.86	駐車場 4 800 m <sup>2</sup> 公衆便所コンクリート ブロック水洗式	厚生省	県内業者	1959~1961	工事は青森 県が委託施 工
青森県上北郡十和田町	十和田土木事務所 青森県十和田市	3.9	延長 7.7 km 巾 2.0 m 路肩凝木打ち	青森県	同上	1961~1963	
青森県八戸市 (国鉄八戸線 蛟駅)	運輸省直轄事務所 青森県八戸市	20	一方 t 埠頭建設	運輸省	直轄	1958~1963	
青森県八戸市 (国鉄 八戸駅)	八戸土木事務所 青森県八戸市	32	35号チリ津波で被災した西防 波堤建設	建設省	県内業者	1961~1963	
青森市 (国鉄 青森駅)	青森市水道部下水道課 青森市大字奥野	132.9	排水区域 625 hr 管渠伏設 132 217 m ポンプ場施設 3カ所 処分場施設 1カ所	青森市	県内業者	1952~1971	
八戸市白銀町 (国鉄八戸線 白銀駅)	白銀火災復興事務所 八戸市白銀町	19.9	36年5月台風において焼失し た白銀地区の土地区画整理面 積 89 400 坪	青森県	県内業者	1961.7~ 1963	
八戸市河原木 (国鉄 八戸駅)	八戸港務所 八戸市小中野	9.9	航路浚渫土を流用して埋立	青森県	臨界土木 穂積建設	1957~1963	
青森市	青森市役所		戦災復興事業による青森市内 の基地移転をともなった霊園 である	青森市		1954	
青森市、バス	青森土木事務所	30.9	滑走路延長 1 200 m 巾 100 m	青森県		1963 予定	

にのりセメント、砂鉄製造工場建設が東北開発会社の手により  
推進されることになった。

最後に青森市の南約 20 分のところに高田の豆坂平がありこ

こは青森空港の予定地として用地面積約 14 万坪を昭和 36 年  
度に買収を終り 37 年度、38 年度の両年におたり空港建設を完  
了する予定である。

岩 手 県



岩手県都市一覧

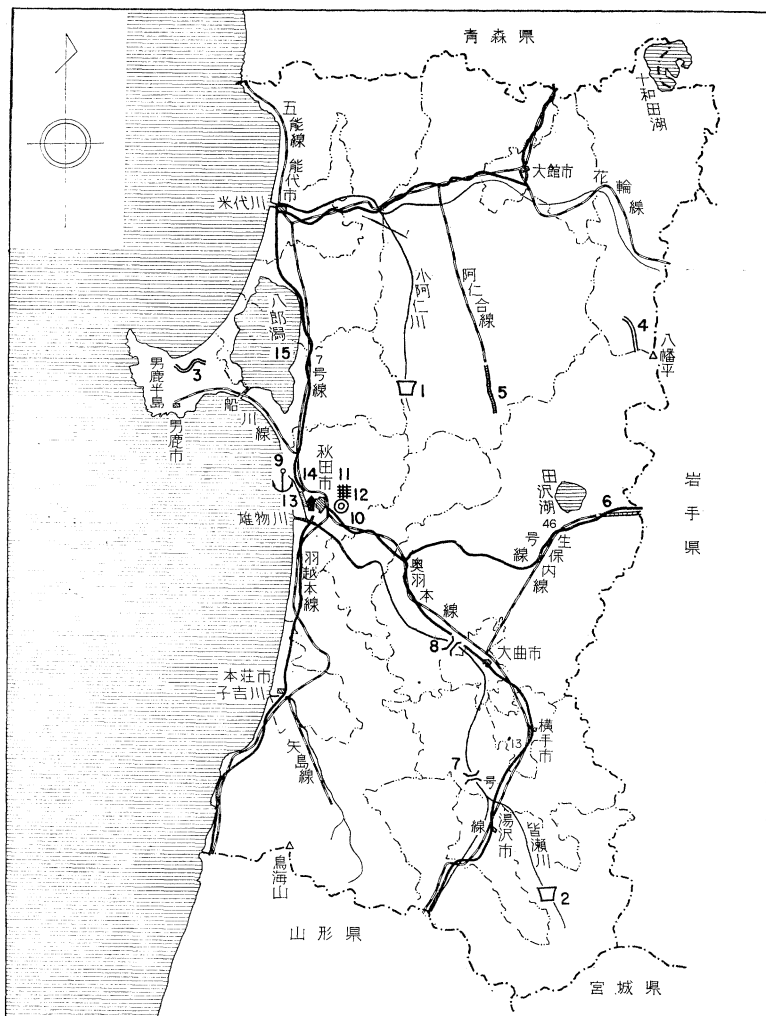
(昭和 36 年 10 月現在)

都 市 名	市制施行日	面積 (km <sup>2</sup> )	人 口
盛岡	明 22. 4. 1	399.32	157 441
釜石	昭 12. 5. 5	444.08	87 511
宮古	昭 16. 2. 11	338.29	55 385
一関	昭 23. 4. 1	407.52	57 585
大船渡	昭 27. 4. 1	185.84	35 946
水沢	昭 29. 4. 1	95.61	44 187
花巻	昭 29. 4. 1	384.74	62 385
北上	昭 29. 4. 1	145.40	42 979
久慈	昭 29. 11. 3	325.66	37 714
遠野	昭 29. 12. 1	660.18	36 928
陸前高田	昭 30. 1. 1	231.27	31 839
江刺	昭 33. 11. 3	360.77	47 363

工事区分	番号	工 事 件 名
道路工事	1	二級国道 秋田盛岡線
	2	二級国道 八戸仙台線
	3	二級国道 八戸仙台線
	4	二級国道 大船渡本荘線
	5	主要地方道 水沢十文字線
	6	一般地方道 水沢住田町
橋梁工事	7	徳田橋架換工事
	8	棚ノ瀬橋架換工事
	9	上ノ橋架換工事
	10	天神橋架換工事
	11	新田橋架換工事
河川工事	12	葛根田川改修工事
	13	金流川改修工事 (調整費を含む)
	14	広瀬川改修工事
	15	馬淵川改修工事
	観光施設および観光計画	16
17		宮古港
港湾工事	18	久慈港
	海岸保全	19
20		〃
21		海岸修築
22		〃
23		津波対策および海岸修築
24		津波対策
25		〃
26		〃
27		〃
28		津波対策および港湾整備
29	海岸修築	
下水道	30	盛岡市公共下水道
	31	釜石市 〃
都市計画	32	盛岡都市計画街路事業
	33	釜石都市計画街路事業
	34	大船渡都市計画街路事業
	35	大槌都市計画街路事業
その他	36	空 港

位置および交通案内	工事事務所所在地	工費(1000万円)	工事特徴	事業主体	主要施工業者	施工年月 竣工予定年月	備考
岩手郡雫石町御明神	盛岡市	33.1	自動車交通不能箇所改良	岩手県	安藤組	1957.4~ 1963.3	
大船渡市立根 気仙郡三陸村	大船渡市	26.3	トンネル設置により曲線、勾配の緩和	"	高常建設	1958.4~ 1963.3	
下閉伊郡岩泉町小木 " 田野畑村横木沢	岩泉町	19.5	自動車交通不能箇所改良	"	工藤健	1959.4~ 1964.3	
和賀郡湯田村	北上市	19.4	ダム工事に伴う道路代替	"(建設省に委託)	"	1957.4~ 1965.3	
胆沢郡胆沢村	水沢市	79.6	自動車交通不能箇所改良	"	高惣建設	1950.4~ 1968.3	
江刺市、気仙郡住田町	水沢市	50.1		"	藤田建設 高弥建設	1953.4~ 1966.3	
一般県道 大ケ生矢中停車場線 紫波郡矢中村 (東北本線 矢中駅)	盛岡市	13.5	L=361.0m W=6.0 平行弦ワーレントラス 3@ 56.20 活荷重合成桁 6@ 31.00 下部井筒基礎 LH=8.121	岩手県	上部 松尾橋梁 下部 丸協建設	1959.10~ 1962.10	河北川
一般県道 一ノ関市大東町~中里町 (東北本線 一ノ関駅)	一ノ関市	18.36	L=219.0m W=6.0 ランガートラス 3@ 73.00 下部ニューマチックケーソン (H=15.0m) 基礎	"	上部 川田工業 下部 銭高組	1958.12~ 1962.10	北上川
一般県道 一ノ関大東線 東磐井郡東山町 (国鉄大船渡線 陸中松川駅)	千厩町	5.016	L=98.0m W=6.0 ポストテンション P.L 単桁 下部橋脚井筒基礎 (H=9.0m) 橋台杭打基礎	"	上部 日本鋼弦 下部 丸協建設	1960~1961	砂鉄川
主要地方道 一ノ関巻線 西磐井郡花泉町 (国鉄東北本線 花泉駅)	花泉町	3.25	L=84.7m W=6.0 三径間連続鉄筋 24.35+36.0+24.35 下部フーチング基礎	"	上部 未定 下部 小野寺閘門	1961.9~ 1963.3	金流川
二級国道 八戸仙台線 下閉伊郡山田町 (国鉄山田線 豊間根駅)	宮古市	3.0	L=105.0m W=6.0 鉄筋コンクリートゲルバー 下部井筒基礎 (H=6.8m)	"	中亀建設	1961.9~ 1963.3	津軽石川
岩手郡雫石町西山 (橋場線 雫石駅)	盛岡建設事務所 盛岡市内丸	4.5	築堤 725m	岩手県	高弥建設	1961.9.25~ 1962.3.3	ただし工費は事業者
西磐井郡花泉町 (東北本線 花泉駅)	一関建設事務所 一関市	5.6	築堤(暫定断面) 887m, 1784m	"	小山建設 橋本建設	1961.10.18~ 1962.3.25	
江刺市愛宕字馬場先 (東北線 水沢駅)	水沢建設事務所 (江刺出張所) 水沢市	1.0	築堤 405m	"	高惣建設	1961.10.14~ 1962.3.2	
岩手郡葛巻町 (沼宮内駅)	盛岡建設事務所 (葛巻出張所) 葛巻町	1.0	築堤 550m	"	水本建設	1961.9.15~ 1962.3.25	
岩手郡松尾村寄木 (松尾鉱山鉄道 終点東八幡平駅)		4.2	夏冬兼用リフト	岩手県	日本ケーブル	— 1961.11	
宮古港 (山田線 宮古駅)	宮古建設事務所	110	1万t岸壁 竣功 防波堤施行中	岩手県直轄	宮城建設	— 1971	
久慈駅 (八戸線 久慈駅)	久慈建設事務所	65	防波堤施行中	岩手県	"	— 1965	
九戸郡種市町 (八戸線 手内駅)	久慈建設事務所	15	海岸堤防重式前面コンクリート 矢板・I型根固ブロック	岩手県	小山組	1960~1966	
八木港 (八戸線 八木駅)	" "	59	海岸堤防および港湾工事(ドライ工法施行)	"	日産建設	1961~1966	
下閉伊郡普代村	" "	22	海岸堤防	"	下十未組	1959~1962	
下閉伊郡 田老町	" "	3	在来防浪堤1900mを補修中	"	小幡組	1960~1965	
宮古海岸一帯	宮古 "	141	海岸堤防	"	古久根、清水、 鉄道建設、外	1960~1966	
関口、織笠、船越海岸 (大槌町 釜石線 大槌)	釜石 "	62	"	"	水本、高惣、清水	1960~1966	
(釜石市鶴住居 釜石線 鶴住居)	釜石 "	39	"	"	銭高組	"	
気仙郡三陸村 越喜来	釜石 "	37	"	"	"	"	
大船渡市 大船渡駅	大船渡 "	11	"	"	菊池組	"	
陸前高田海岸一帯	" "	94	海岸堤防 1万t岸壁 180mあり 階段式護岸および海岸堤防	"	高弥建設	"	
盛岡市	盛岡市役所内	73.7	分流式	盛岡市	千田組	1961~1965	前期5カ年 計画分計上
釜石市	釜石市役所内	23.0	合分流併用式	釜石市	分割請負	1961~1965	前期5カ年 計画分計上
盛岡市仁王 釜石市中妻	盛岡市役所 釜石市役所	7.937 3.94	都市改造	盛岡市 釜石市	分割請負 "	1959~1965 1959~1963	
大船渡市下船渡赤崎	大船渡市役所	4.63	災害復興地区地区画整理	大船渡市	"	1960~1965	チリ地震津波
大槌町、町方、安渡	大槌町役場	1.2	"	大槌町	"	1960~1965	
花巻空港 (東北本線 花巻駅)	花巻建設事務所	32	整地中	岩手県	鹿島建設	1961~1963	

秋 田 県



秋田県建設事業

工事区分	番号	工 事 件 名
ダム工事	1	萩形ダム建設工事
	2	皆瀬ダム建設工事
道路工事 (新 設)	3	寒風山有料道路事業
	4	八幡平有料道路事業
鉄道工事 (新 設)	5	鷹角線建設工事
	6	生橋線建設工事
橋梁工事	7	今泉橋橋梁架替工事
	8	岳見橋橋梁架替工事
港湾工事	9	秋田港々湾整備事業
下水道	10	公共下水道
都市計画	11	秋田駅前 土地区画整理
	12	手形赤沼線立体交差
埋立工事	13	秋田港臨海工業用地 造成事業
公園緑地	14	八幡運動公園施設整 備事業、競技場、野 球場園地
その他	15	八郎湾干拓工事

秋田県の建設事業

○道路整備 5 年計画 最近における自動車交通の増加は現行道路整備 5 年計画策定時の予想をはるかに上廻っており、この交通情勢に対処し、新たに策定しようとする所得倍増計画を策定し道路の改良と近代化を促進して輸送隘路を打開すると共に先行的道路投資を行なって経済発展の基盤を強化する必要がある。このため新たな構想のもとに、次の通り昭和 36 年度を初年度とする新道路整備 5 年計画を策定したのであるが、これにもとずきその 1 環として橋梁架替工事を行なっているのである。

○臨界工業用地造成事業 秋田市茨島工場地帯と秋田港本港地区を結ぶ延長約 8 km の区間に通称秋田運河に沿って一大工場地帯を整備する計画の下に約 2 000 000 m<sup>2</sup> の工場用地を造成するため、昭和 29 年度より県および東北開発 KK により、土地造成事業を実施中である。

○田沢疏水開拓建設事業 総貯留水 70 億も有する田沢湖およ

び玉川の水を利用し、林地 160 ha、採草地 800 ha、畑地 40 ha 計 1 000 ha を開田する計画であり、計画取水口は東北電力神代調整池に求め開拓地は既設田沢疏水地区の東部でトンネル延長 7.5 km、開渠 18.5 km の用水路を施設し、用水量 5.56 m<sup>3</sup>/sec を確保する計画である。

○萩形ダム、皆瀬ダム建設事業 本県を流れる雄物川、米代川水系には洪水調節を主目的とした河川総合開発計画があり、すでに鉾畑、森吉両ダムには表面遮水壁型ロックフィル型で堤高 65 m、洪水調節量 900 m<sup>3</sup>/sec、かんがい 11 091 ha、発電最大 5 300 kW の効果を有する。また堤高 63 m 重力式コンクリートダムである萩形ダム昭和 37 年に着工する。特長は、洪水 550 m<sup>3</sup>/sec を調節する外、流域変更により最大 15 000 kW の発電をする。

○八幡平有料道路 十和田、八幡平国立公園内の八幡平地区は車両交通の道路がないため、十和田湖、八幡平およびこの地帯の温泉群がそれぞれ弧立的な存在となり、観光開発を阻害して

位置および交通案内	工事事務所所在地	工 費 (1000万円)	工 事 特 徴	事業主体	主要施工業者	施 工 年 月 竣工予定年月	備 考
北秋田郡上小阿仁村 奥羽本線 鷹巣駅乗替 (阿仁合線 米内沢駅) 北秋バス 沖田面 森林軌道 20 km (但し昭和37年度より工事 用道路となる) 雄勝郡皆瀬村 (奥羽本線 十文字駅)	秋形ダム建設事務所 北秋田郡上小阿仁村  皆瀬ダム工事事務所 雄勝郡皆瀬村	2.4  64.0	重力式ダム(多目的) 洪水調節, 流域変更発電  多目的, ロックフィルダム	秋 田 県  建 設 省	未 定  西 松 建 設	1962.4~ 1966.3  1958.4~ 1964.3	1962年着工 400(1千万円) 総工費 1900(1千万円)  総工費 324
男鹿市鴨木 (船川線 鴨木駅)  鹿角郡八幡平村 (花輪線 八幡平駅)	秋田土木事務所 秋田市西根小屋町  鹿角土木事務所 鹿角郡花輪町	15.1  6.0	道路改良工事(舗装道)  道路改良工事(砂利道)	秋 田 県  秋 田 県	大 木 組 治 建 設  山本組, 村木組 多田組	1961.4~ 1961.9  1961.5~ 1962.3	  35年着工 総事業費 10.0
北秋田郡 (阿仁合線 阿仁合駅)  仙北郡田沢湖町 (生保内線 生保内駅)	国鉄盛岡工務局 阿仁合工事区 北秋田郡阿仁町  国鉄盛岡工務局 生保内工事区 仙北郡田沢湖町	16.0  24.8	路 盤 工 事  路 盤 工 事	国鉄 盛岡工務局  国鉄 盛岡工務局	地崎組, 栗原組  鉄 道 建 設	1957.7~ 1964.3  1957.7~ 1964.3	総工費 87.6  総工費 223
平鹿郡十文字町 (奥羽本線 十文字駅)  仙北郡神岡町 (奥羽本線 神宮寺駅)	平鹿土木事務所 横 手 市  仙北土木事務所 大 曲 市	4.1  4.1	ランガー ガーター4連 活荷重合成桁 5ヶ L=422.00 W=6.00  ワーレントラス5連 活荷重合成桁 5ヶ L=430.00 W=6.00	秋 田 県  秋 田 県	横 河 橋 梁  宮地鉄工, 日本 橋梁, 栗原組, 小笠原組	1961.4~ 1962.3  1961.7~ 1962.3	33年着工 総事業費 16.5  32年着工 総事業費 15.3
秋田市 土崎港	運輸省秋田港湾工事事務所 秋田市土崎港	16.0	防波堤 岸壁(1万t)	運 輸 省	直 轄	1961~1965	総事業費 104.6
秋田市(秋田駅)	秋 田 市 役 所 秋 田 市	4.5		秋 田 市		1952~1968	総事業費 39.6
秋田市長ノ町	秋 田 市 役 所	6.0	都 市 改 造	秋 田 市		1958~1962	総事業費 219
秋田市手形赤沼(秋田駅)	秋田土木事務所 秋田市西根小屋町	1.2	ラーメン陸橋	秋 田 県	未 着	1960~1965	総事業費 45.9
秋田市川尻(秋田駅)	秋 田 港 務 所 秋田市土崎港	8.8	サンド ポンプにより航 路と土地造成	秋 田 県	臨 海 土 木	1961.4~ 1962.3	
秋田市八橋	秋田土木事務所	20.0	第1種競技場及スタンド 硬式野球場補修, 広場	秋 田 県 秋 田 市	土 建 協 同 組 合	1959~1961	第16回国体 開催にとも なう整備
八 郎 潟 (奥羽本線 一日市駅)	八郎潟干拓事務所 秋田市川尻	450.0	サンド ポンプにより湖 内堤防築造	農 林 省	臨 海 土 木	1957~1962	総事業費 2 395

いる現状である。このため県は県道毛馬内角館線のトロコ温泉分岐点から八幡平頂上に至る区間の道路を改良し、旅行者の便益とこの地域の発展を図る意図のもとにとりあえず、昭和35年度から工費1億円をもってトロコ温泉から蒸の湯温泉に至る延長8530m、巾員5.5mの有料道路として着工したものである。

○八郎潟干拓工事 計画の沿革は古く、大正年間より数度立案されたが財政、その他の理由で実施に至らなかったが昭和29年世界銀行調査団、続いてF.A.O調査団を迎え、事業の有用性が認められるにいたり、昭和31年農林省はオランダ、NEDCDと技術援助契約を結び計画の完成を図り昭和32年着工した。八郎潟面積22173haの内、中央、南部、東部の17176haを干拓し残余の水面を調整池、東部、西部、承水路とする。中央干拓地は延長約50kmの堤防で締切り、潟流域688km<sup>2</sup>の流出水は調整池で一時調節し、船越水道の防潮本門で日本海に排途する。新農地14178haを造成し、年間米340.976石、麦11.280石の増産を計る。

○都市計画事業 秋田市は昭和2年に都市計画法の適用を受け、同29年に総合都市計画を立て、以来その整備に意を注いで来たものである。秋田駅の改築、広場の整備、秋田高校の移転にともなう商業地域の高度利用と付近地の交通緩和のための都市改造事業と市の中心地より文教地区への立体交差、第16回国民体育大会の主競技場の八橋運動公園の整備をなしたものである。

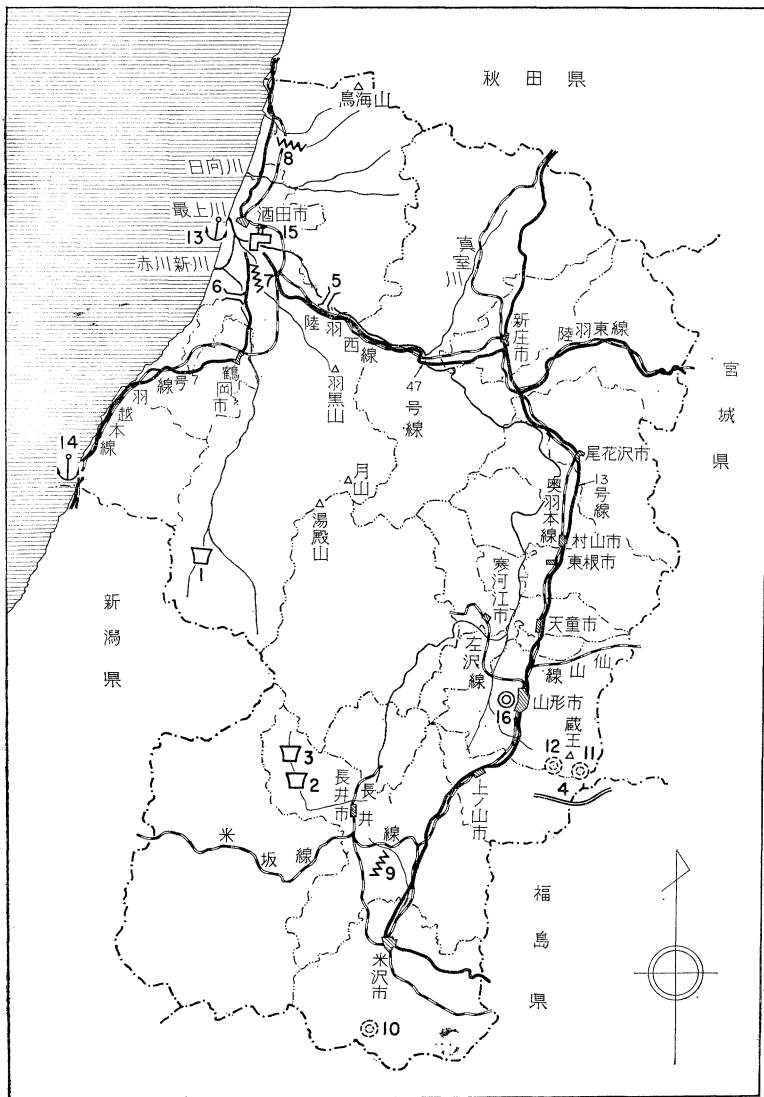
○鷹角線建設工事 鷹角線は奥羽本線鷹巣より分岐している阿仁合と生保内線角館とを結ぶ延長60.6kmの路線で、昭和32年鉄道審議会で着工を決定した。

○生橋線建設工事 本路線は、東北本線と奥羽本線を連結し、山田線を経由して太平洋と日本海を直結するもので延長24.1kmである。昭和32年鉄道審議会で着工と決定した。

秋田港は、秋田臨海工業地帯の拠点として、港湾整備計画をたて工業港として、南防波堤の延長1万t岸壁1バースの建設、航路水深(-9.0m)の整備を実施中である。



山形県



山形県将来計画および抱負

**道路課**：本県の前記 5 カ年における道路整備の状況としては、1 級国道 256 km で、栗子峠を除き改良，舗装は 100%，2 級国道は，改良 46.7%，舗装 50.4%，県道は，改良 19.1%，舗装 6.3% となる見込みである。本県の開発上隘路となっている次の問題を早急に解決する必要がある。(1) 栗子峠の改良促進 (2) 山形バイパスの早期実現 (3) 月山有料道路の早期着工 (4) 東北横断道路 (2 級国道山形鶴岡線，主要地方道仙台川崎山形線) の 1 級国道昇格を実現して整備促進することなどが特に重要である。

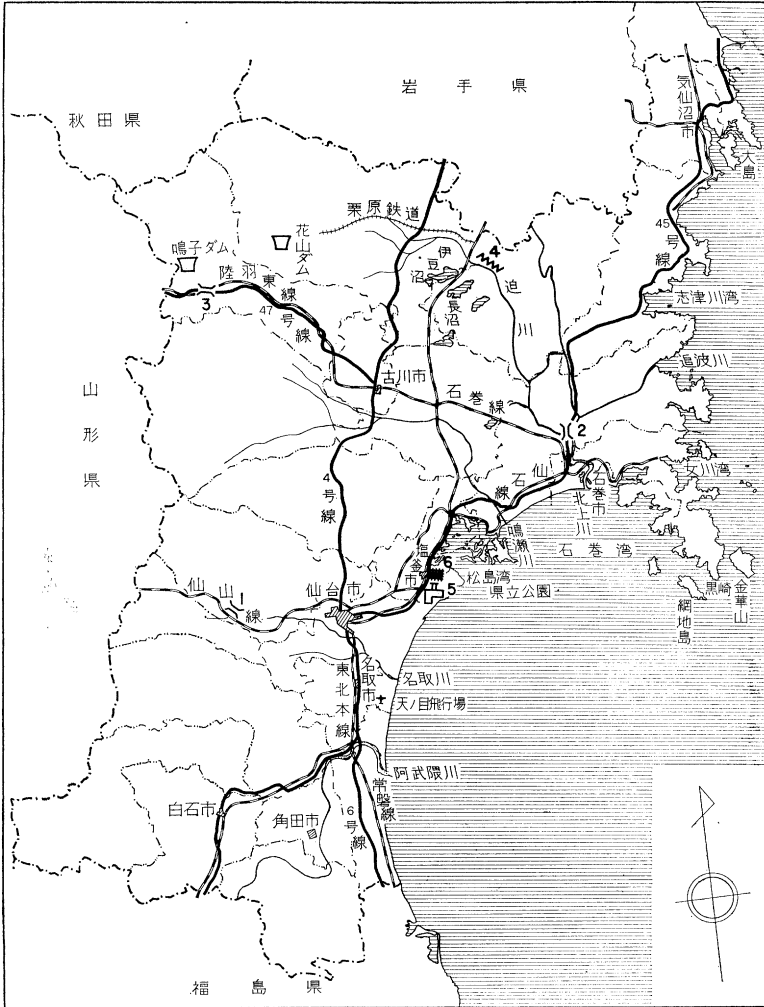
**河港課**：本県における適用，準用河川の

延長は，212 河川，2 209 km に達しておりなお増加の傾向にあるが，その大部分は天然河川で，その整備が非常に遅れている。昭和 36 年度以降の要改修区域はなお 1 600 km におよび，その概算は 600 億円と算定されるが前期 5 カ年計画ではわずかに 17 億円に過ぎない。また最上川本支流における洪水量を制御または軽減するため各支川の上流に多目的ダムあるいは穴あきダムの建設を急ぐ必要がある。本県の開発上河川の末整備は大きな隘路となっているのでさらに一段の調査検討を進め，合せて大巾な予算の増額を強く要望する。

工事区分	番号	工事件名
ダム工事	1	荒沢ダム
	2	菅野ダム
	3	木地山ダム
道路工事 (新設)	4	蔵王有料道路
橋梁工事	5	最上川橋
	6	両田川橋
河川工事	7	京田川改良
	8	月光川改良
	9	犬川改良
観光施設および観光計画	10	あずまユース・ホステル
	11	蔵王ロープウェイ
	12	蔵王パークホテル
港湾工事	13	重要港湾 酒田港
	14	避難港 胤ヶ関港
上水道および工業用水	15	酒田工業用水道事業
下水道	16	山形市公共下水道

位置および交通案内	工事事務所所在地	工 費 (1000万円)	工 事 特 徴	事業主体	主要施工業者	施 工 年 月 竣工予定年月	備 考
東田川郡朝日村 (鶴岡駅, バス)	荒沢ダム管理事務所	180	総合開発事業 堤 高 61 m 重力式コンクリートダム 目的: 治水, かんがい, 発電	山 形 県	能 谷 組	1953.4~ 1956.3	
西置賜郡長井市 (長井駅)	野川水系管理事務所	32	総合開発事業 堤 高 42.5 m 重力式コンクリートダム 目的: 治水, かんがい, 発電	〃	大 豊 建 設	1952.4~ 1954.3	
西置賜郡長井市 (長井駅)	〃	76	総合開発事業 堤 高 46 m ホロー重力式 コンクリートダム 目的: 治水, かんがい, 発電	〃	熊 谷 組	1957.4~ 1961.3	
全 体 自 宮城県刈田郡蔵王町 至 山形県上山市永野 山形県分 自 山形県, 宮城県界 至 山形県上山市永野 (上山駅, 永野, バス)	日本道路公団東京支社 蔵王道路工事事務所 宮城県刈田郡蔵王町 遠刈田温泉	全体 49 山形県分 27	総延長 26 210 m 山形県側 14 250 m 巾員 4.0 m 巾巾 6.0 m 最小曲線半径 15.0 m 最急勾配 10% 路 面 砂利道	日本道路公団	宮城県側 藤 田 建 設 小 松 扶 桑 建 設 山形県側 大 林 組 大 木 建 設	1960.8.16~ 1963.3.31	
東田川郡 立川町 (狩川駅, 徒歩)	酒田建設事務所	20.1	上部工 ワーレントラス 5@ 71.5 m 下部工 大豊式ケーソン 6 基	山 形 県	下部工 大豊建設	1960.4~ 1964.3	
東田川郡三川村 (鶴岡市, バス)	鶴岡建設事務所	13.3	上部工 ワーレントラス 3@ 60.0 m P C 桁 7@ 22.49 m 下部工 ウエル 6 基 杭打式 5 〃	〃	下部 上部 渋谷建設 日本橋梁 P S コ ン ク リ ー ト	1958.4~ 1962.3	
酒田市広野新田 (酒田, バス)	北部河川工事事務所	全体 101.5 36年度 5.75	総延長 17 000 m 巾員 50~100 m 計画洪水量 760 m <sup>3</sup> /sec 計画河床勾配 1/2 800~1/4 000	山 形 県	直 営	1952.4~ 1970.3	
飽海郡遊佐町	北部河川工事事務所	全体 42.5 36年度 2.4	総延長 13 900 m 巾員 58 m~98 m 計画洪水量 730 m <sup>3</sup> /sec 計画河床勾配 1/300~1/3 330	〃	〃	1945.4~ 1966.3	
東置賜郡川西町	南部河川工事事務所	全体 56.0 36年度 5.7	総延長 10 840 m 巾員 49 m~100 m 計画洪水量 540 m <sup>3</sup> /sec 計画河床勾配 1/268~1/1 760	〃	〃	1952.4~ 1970.3	
米沢市大字関白布高湯 (米沢駅, バス)		1.6	鉄筋コンクリート造 2 階建 面 積 508 706 m <sup>2</sup>	山 形 県	米 沢 三 共 木 材	1960.7~ 1961.3	
山形市蔵王温泉 (山形駅, バス)		第一期工事 18.5	交走式 L=1 669 m	蔵王ロープ ウェイ	安 全 索 道		第二期工事 L=1 700
〃		11	鉄筋コンクリート造 4 階建 面 積 2 660 m <sup>2</sup>	蔵王パーク ホテル	佐 藤 工 業		
酒田市新町 (酒田駅, バス)	運輸省酒田港工事事務所, 山形県酒田港 管理事務所 酒田市新町	5 カ年計画 (1961~1965) 直補計 95	1 万 t 岸壁 井筒式 物揚場 (鋼矢板)	運 輸 省 山 形 県	直 営	1961~1965	
西田川郡温海町鼠ヶ関 (鼠ヶ関駅, 徒歩)	鼠ヶ関港工事事務所 西田川郡温海町鼠ヶ関	48.4	東防波堤 捨石上函塊捨付 434 m 西防波堤 函塊式 45 m	山 形 県	〃	1947.4~ 1963.3	1963年度より地方港湾 にて工事施行予定
酒田市内一円	現在 酒田市北仙日堂 前 将来 酒田市酒井新田 字酒田割地内	72	最上川表流水取水 高速沈澱槽設置	山 形 県	鹿島建設, 栗田 工業, 後藤組	1 部給水 1962.4.1~ 完 工 1963.4.1	
山形市内一円	山形市建設部下水道課	85.1	分流式 (終末処理場共)	山 形 市		1961~1967	

宮 城 県



宮 城 県 都 市 一 覧

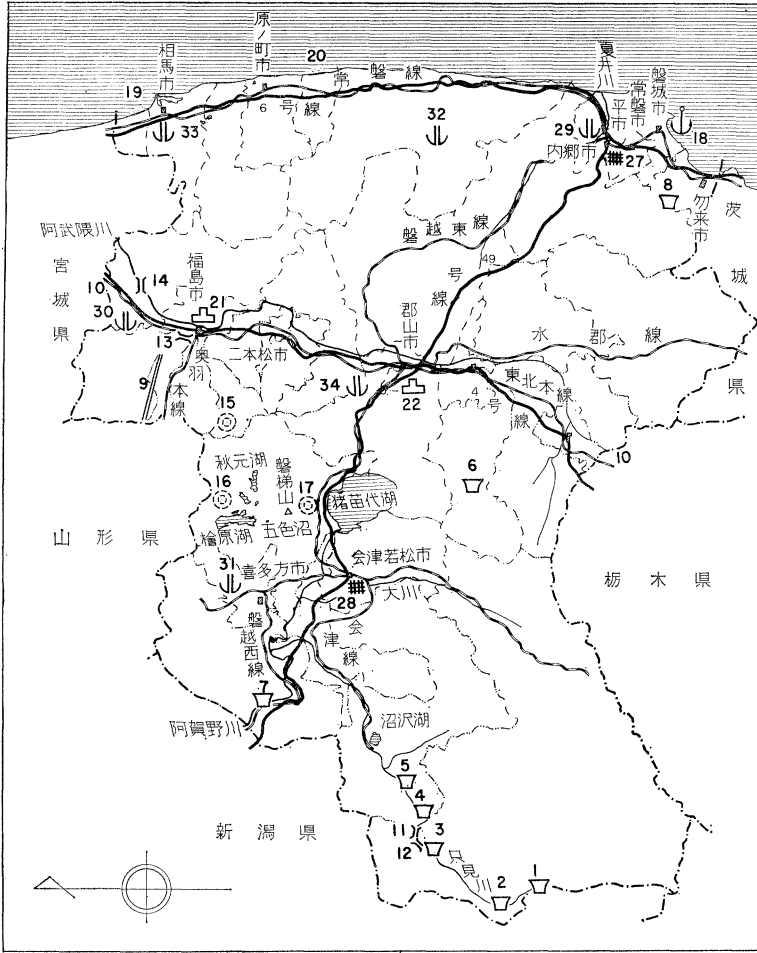
(昭和 36 年 10 月現在)

都 市 名	市 制 施 行 日	面 積 (km <sup>2</sup> )	人 口
仙 台	昭 22. 4. 1	236.85	425 272
石 巻	昭 8. 4. 1	80.35	83 947
塩 釜	昭 16. 11. 23	17.32	55 325
古 川	昭 25. 12. 15	134.36	53 953
気 仙 沼	昭 28. 6. 1	183.63	57 016
白 石	昭 29. 4. 1	285.94	43 911
名 取	昭 33. 10. 1	100.70	33 026
角 田	昭 33. 10. 1	147.64	34 497

工事区分	番号	工 事 件 名
橋 梁 工 事	1	熊ヶ根橋 橋梁整備事業
	2	天王橋 橋梁整備事業
	3	大深沢橋 橋梁整備事業
河 川 工 事	4	中小河川 迫川改良工事  南谷地遊水池 溢流堤自動堰工事
上水道および工業用水	5	塩釜工業用水道事業
都 市 計 画	6	塩釜都市改造 (北浜土地区画整理) 事業

位置および交通案内	工事事務所所在地	工 費 (1000万円)	工 事 特 徴	事業主体	主要施工業者	施 工 年 月 竣工予定年月	備 考
宮城郡宮城村・名取郡秋保村入会 (仙山線 熊ヶ根駅)	仙台土木事務所 仙台市北八番丁 208	12.245	二ヒンジ鋼トラス アーチ支間 110 m 全長 138.00 m×巾員 6.00 m	宮 城 県	上部工 宮地鉄工所 下部工 熊 谷 組	— 1954.8	橋梁架設により道路延長を1200 m 短縮しかつ屈曲部を解消して冬の交通を安全にした
桃生郡河北河南町入会 (石巻線 鹿又駅)	石巻土木事務所 石巻市門脇字九軒丁 56	21.39	支間120 mのランガーガーダー (溶接) ガーダー部分に HTS-50 使用 全長 367.70 m×巾員 6.00 m	宮 城 県	上部工 汽 車 製 造 下部工 熊 谷 組	— 1959.10	
王造郡鳴子町中山平字大深沢 (陸羽東線 中山平駅)	古川土木事務所 古川市大柿字東浦 110の1	4.61	支間 77.20 m のリブ アーチ (溶接) リブ部分は HTS-50 使用 全長 99.70 m×巾員 6.00 m	宮 城 県	上部工 横 河 橋 梁 下部工 高 友 組	— 1962.3	橋梁架設により道路延長を1300 m 短縮しかつ屈曲部を解消して冬の交通を安全にした
栗原郡若柳町大巻	追川改良工事事務所 巻米郡追町佐沼西佐沼 173	溢流堤 1.8 自動堰 1.4	追川治水計画の一環として築造されたもので洪水流量 1600 m <sup>3</sup> /3 を南谷地において最大 262 m <sup>3</sup> /3 長沼遊水池において 588 m <sup>3</sup> /3 調節して下流追川の洪水量を 750 m <sup>3</sup> /3 に制限して治水の万全を期するものである。なお遊水池の補償のケースとしては全国初の試みであり損失補償額として総額 51718 千円を支払い永久補償の型態としている。	宮 城 県	宮城県 土木部 直 営	1956.4~ 1958.3	
仙台市多賀城町 塩釜市の1部	仙塩開発建設事務所 宮城県宮城郡多賀城町字石崎 3	109	自然流下 敷設四ツ谷用水路一部改修 石綿セメント管 φ 1000 mm/m 使用	宮 城 県	飛島土木, 帝国 ヒューム, 久保 田水道, 荏原 インフルコ	1958.4~ 1964.3	
塩釜市本塩釜駅付近 (都心部)	塩 釜 市 役 所	100	1. 二級国道を高架にし都心部を直結する 2. 海面埋立をふくめ近代的市街を造成する 3. 観光地施設および自動車利用目的による街路交通の配分	塩釜市区画 整理関係 宮城県高架 工事 (500 m)	未	1961~1965	着工準備中

福島県



福島県都市一覧

(昭和36年10月現在)

都市名	市制施行日	面積 (km <sup>2</sup> )	人口
福島	明 40. 4. 1	356.35	138 961
会津若松	明 32. 4. 1	284.81	99 546
郡山	大 13. 9. 1	54.24	102 636
平	昭 12. 6. 1	109.79	71 115
白河	昭 24. 4. 1	118.05	41 196
原町	昭 29. 3. 20	199.17	41 006
須賀川	昭 29. 3. 31	113.89	47 156
喜多方	昭 29. 3. 31	150.34	42 338
常磐	昭 29. 3. 31	47.24	44 041
磐城	昭 29. 3. 31	86.06	58 080
相馬	昭 29. 3. 31	197.29	41 352
内郷	昭 29. 7. 10	31.51	38 820
勿来	昭 30. 4. 29	104.67	48 117
二本松	昭 33. 10. 1	130.50	33 939

工事区分	番号	工事件名
ダム工事	1	奥只見発電所
	2	大鳥 "
	3	田子倉 "
	4	滝 "
	5	本名 "
	6	広戸川地区防災溜池事業
	7	上野尻 "
	8	鮫川総合開発事業
道路工事	9	栗子トンネル工事
鉄道工事	10	線路増設および建設工事
橋梁工事	11	橋梁架換工事
	12	" (寄岩橋)
	13	" (上松川橋)
	14	" (伊達崎橋)
観光施設及び観光計画	15	浄土平レストハウス駐車場
	16	国民休暇村
	17	国民宿舎翁島荘
港湾工事	18	小名浜整備事業
海岸保全	19	新沼浦地区海岸保全事業
	20	井田川地区海岸保全事業
工業用地計画及び住宅	21	福島県立医科大学校舎第1次建築工事
	22	福島農事試験場その他付属建物新築
都市計画	27	内郷立体交差
	28	若松駅前広場
土地改良	29	夏井川地区かんがい排水事業
	30	西根北地区かんがい排水事業
	31	喜多方地区かんがい排水事業
	32	上岡地区農地開発建設事業
	33	新沼浦地区農地開発建設事業
	34	五百川地区農地開発建設事業

位置及び交通案内	工事事務所所在地	工費 (1000万円)	工事特徴	事業主体	主要施工業者	施工年月 竣工予定年月	備考
上越線小出駅、バス 奥只見ダム下流	新潟県北魚沼郡湯之谷村 "	3418 683	ダム高 157 m " 83 m	電源開発 "	鹿島建設 前田建設	1958.9~ 1960.11 1961.12~ 1963.11	最大発電電力 360 000 kW " 95 000 "
会津若松市、バス "	福島県南会津郡只見町 "	2936 952	" 143 m " 46 m	" "	" "	1953.10~ 1960.11 1960.3~ 1961.11	380 000 " 92 000 "
" "	" "	—	" 51.5 m	東北電力	"	1960~ 1954.10	78 000 "
岩瀬郡天栄村滝生 (東北本線 須賀川駅)	岩瀬郡天栄村牧の内 "	47 721	コンクリートダム $H=31.0$ m ダム高 20.5 m $L=148.5$ m	" "	鹿島建設 "	1960~ 1962.3 — 1959.7	最大発電電力 52 000 kW
石城郡田人村大字旅人 (常磐線 植田駅)	石城郡田人村大字旅人字井戸沢	119	コンクリートダム ダム $L=163.5$ m 直線重力式溢流型 $H=58$ 導水路 $L=21 630$ m 計画給水量工業用水 110 400 m <sup>3</sup> /d 上水 18 200 m <sup>3</sup> /d	"	清水組	1957.3~ 1959.3	
(東北本線 福島駅) 奥羽本線 板谷	福島県	700	$L=2.700$ m $W=8.5$ m $H=4.5$ m	東北地建 福島工事々務所	佐藤 藤島 工業建設	1961~1964	
東北本線黒磯~丸森間 各駅下車特に日和田、 五百川、杉田、本宮下車	福島市	185.0 426.0 535.0	複線工事及新線建設中に杉田~本宮間のトンネルは二段逆巻側壁先進工法を採用	国鉄盛岡工事局 福島出張所	清水建設	1959.7~ 1965.3	
蒲生橋 南会津郡只見町 バス宮下~只見	南会津郡南郷村大字山口	12	ランガーガーター応力導入 88 m 側径間合成桁	福島県	上部工 松尾橋梁 下部工 共栄建設	1959.8~ 1961.12	只見川電源開発付替道路工事
南会津郡只見町 バス宮下~只見	"	8	ランガーガーター 88 m 側径間合成桁	"	上部工 松尾橋梁 下部工 日東工業	1959.10~ 1961.12	
福島市泉地 バス (福島~飯坂)	福島市	7	1 径間 40 m のフレワンナー方式 ポステンション桁径間	"	オリエンタル コンクリート	1954.7~ 1955.12	
伊達郡桑折町 バス	伊達郡保原町	12	1 径間 43.22m×7 径間=303.1m フレワンナー方式ポステン P C 桁 横入間隔 1.3 m 床版試験	"	上部工 オリエンタル 下部工 西松建設	1958.8~ 1961.10	
福島市土湯温泉町鷲倉 山 駅前バス	福島県福島市	4.5	自家発電	"	池田建設	— 1962.3	
耶麻郡北塩原村 猪苗代駅前	耶麻郡猪苗代町	82.6	宿舍、駐車場、道路、野営場、その他	厚生省	"	1962~1966	
耶麻郡猪苗代町翁島 猪苗代駅、バス	"	2.0		"	"	1960.3	
常磐線泉駅にて乗換 小名浜臨時港鉄道小名浜駅	磐城市小名浜	263.0	防波堤 (Caiaison Type) 岸壁 { 1.5万 t, 1 バース, 2 バース 1 万 t, Steelpile 物揚場 (-5.0 m プレキャストコンクリート工法) 液 濃 (Samdpomp 船クラブ式液濃船) 港湾用地造成 (液濃土砂流用)	運輸省、福島県	臨海土木建設 佐藤 藤島 工業組	1961.4~ 1966.3	
平駅よりバス、小名浜 営業所前							
相馬郡新地村 (常磐線 新地駅)	原町市大町 3 丁目	20	ケーソン工 (海口開門)	福島県	大豊建設	1964.3	
相馬郡小高町井田川 (常磐線 小高駅)	"	10	"	"	"	1965.2	
福島市杉妻町 市内バス駅前	福島市杉妻町	17.3	R C 造	"	間組 仙台支店	1962.12	
郡山市若宮前20 岩代 熱海行試験場前下車	"	18.1	R C 造および木造	"	郡山白鳳社	1962.3	
内郷市 (常磐線 綴駅)	平市	15.0	格子合成桁 $L=85.0$ $W=12.0$	"	長谷川常吉 宮地鉄工所	1958.4~ 1964.3	
会津若松市 (磐越西線 若松駅)	会津若松市	4.2	広場面積 7 500 m <sup>2</sup>	会津若松市	秋山建設	1959.3~ 1962.3	
平市 (常磐線 平駅)	平市倉前 5	37	用水路	福島県	掘井工業組	— 1965.3	
伊達郡桑折町藤倉 (東北本線 桑折駅)	伊達郡桑折町車大陽	65	コンクリート堰堤 $H=36$ m $L=89.8$ m	"	佐藤工業	1966.3	
喜多方市関柴町 (磐越西線 喜多方駅)	喜多方市中山原	35	土堰堤 $H=30$ m $L=170.9$ m	"	東洋建設	1959.3	
双葉郡川内村夜の森	双葉郡富岡町	21	土堰堤 $H=22.55$ m $L=190$ m	"	庄司建設	1965.3	
相馬市 (相馬駅)	原町市	21	揚水ポンプ 3 カ所 排水路改修	"	東洋開発	1965.3	
安達郡本宮町 (東北本線 本宮駅)	福島市	22	用水路 $L=23 776$ m	"	石川 橋石 建設	1963.3	